

# 1 人口動態統計の概況

我が国では、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の5種類の「人口動態事象」について、人口動態統計を作成している。

出生・死亡・婚姻及び離婚については「戸籍法」により、死産については「死産の届出に関する規程」によって、それぞれ市区町村長に届け出られる。市区町村長は、これらの届書及び出生証明書・死亡診断書・死産証書等の関係書類に基づいて「人口動態調査票」を作成する。調査票は、地域保健活動の基礎資料として利用されるため、保健所長を経由して都道府県知事に提出され、さらに厚生労働大臣に提出される。厚生労働省では、これらの調査票を集計して人口動態統計を作成している。

本県及び全国における令和3(2021)年の人口動態の概況は、表1、表2に示すとおりである。

表1 栃木県人口動態の概況

	実数			率					平均発生間隔
	令和3年 2021 (A)	令和2年 2020 (B)	増減 (A-B)	令和3年 2021 (C)	全国順位	令和2年 2020 (D)	全国順位	増減 (C-D)	令和3年 2021
出生	11,475	11,808	▲ 333	6.1	32	6.2	33	▲ 0.1	45分 48秒
死亡	22,712	21,702	1,010	12.1	32	11.5	32	0.6	23分 9秒
自然増減	▲ 11,237	▲ 9,894	▲ 1,343	▲ 6.0	18	▲ 5.2	18	▲ 0.8	—
乳児死亡	23	25	▲ 2	2.0	14	2.1	14	▲ 0.1	380時間 52分 10秒
新生児死亡	12	13	▲ 1	1.0	10	1.1	11	▲ 0.1	730時間 00分 00秒
死産	253	262	▲ 9	21.6	8	21.7	10	▲ 0.1	34時間 37分 28秒
周産期死亡	45	44	1	3.9	11	3.7	16	0.2	194時間 41分 00秒
婚姻	7,127	7,396	▲ 269	3.8	18	3.9	22	▲ 0.1	1時間 13分 45秒
離婚	2,799	3,037	▲ 238	1.49	18	1.61	14	▲ 0.12	3時間 7分 47秒

注: 率算出に用いた人口 人口推計(令和3(2021)年10月1日現在)(総務省統計局) 日本人人口(栃木県) 1,880,000人

	令和3年 2021		令和2年 2020		増減	
	率	全国順位	率	全国順位	率	全国順位
合計特殊出生率	1.31	34	1.32	36	▲ 0.01	2位↗

注: 率算出に用いた人口 人口推計(令和3(2021)年10月1日現在)(総務省統計局) 5歳階級別の女性の日本人人口(栃木県)

表2 全国人口動態統計の概況

	実数			率			平均発生間隔
	令和3年 2021 (A)	令和2年 2020 (B)	増減 (A-B)	令和3年 2021 (C)	令和2年 2020 (D)	増減 (C-D)	令和3年 2021
出生	811,622	840,835	▲ 29,213	6.6	6.8	▲ 0.2	39秒
死亡	1,439,856	1,372,755	67,101	11.7	11.1	0.6	22秒
自然増減	▲ 628,234	▲ 531,920	▲ 96,314	▲ 5.1	▲ 4.3	▲ 0.8	—
乳児死亡	1,399	1,512	▲ 113	1.7	1.8	▲ 0.1	6時間 15分 42秒
新生児死亡	658	704	▲ 46	0.8	0.8	0.0	13時間 18分 47秒
死産	16,277	17,278	▲ 1,001	19.7	20.1	▲ 0.4	32分 17秒
周産期死亡	2,741	2,664	77	3.4	3.2	0.2	3時間 11分 45秒
婚姻	501,138	525,507	▲ 24,369	4.1	4.3	▲ 0.2	1分 3秒
離婚	184,384	193,253	▲ 8,869	1.50	1.57	▲ 0.07	2分 51秒

注: 率算出に用いた人口 人口推計(令和3(2021)年10月1日現在)(総務省統計局) 日本人人口(全国) 122,780,487人

	令和3年 2021	令和2年 2020	増減
合計特殊出生率	1.30	1.33	▲ 0.03

注: 率算出に用いた人口 人口推計(令和3(2021)年10月1日現在)(総務省統計局) 各歳別の女性の日本人人口(全国)

## 2 出 生

### (1) 出生数及び出生率

出生数は11,475人で前年の11,808人より333人減少し、出生率（人口千対）は6.1で前年の6.2を0.1下回った。

出生率を年次推移でみると、昭和48(1973)年の19.3から減少を続け、平成17(2005)年に9点台を、平成25(2013)年に8点台を下回り、令和元(2019)年に6.6と初めて7点台を下回った。

### (2) 都道府県別にみた出生率

都道府県別に出生率をみると、本県の6.1は全国で32位であり、全国の6.6を0.5下回った。出生率の最も高い都道府県は沖縄県の10.0で、次いで福岡県の7.4となっている。また、最も低い都道府県は秋田県の4.6で、次いで青森県の5.4となっている。

## 3 死 亡

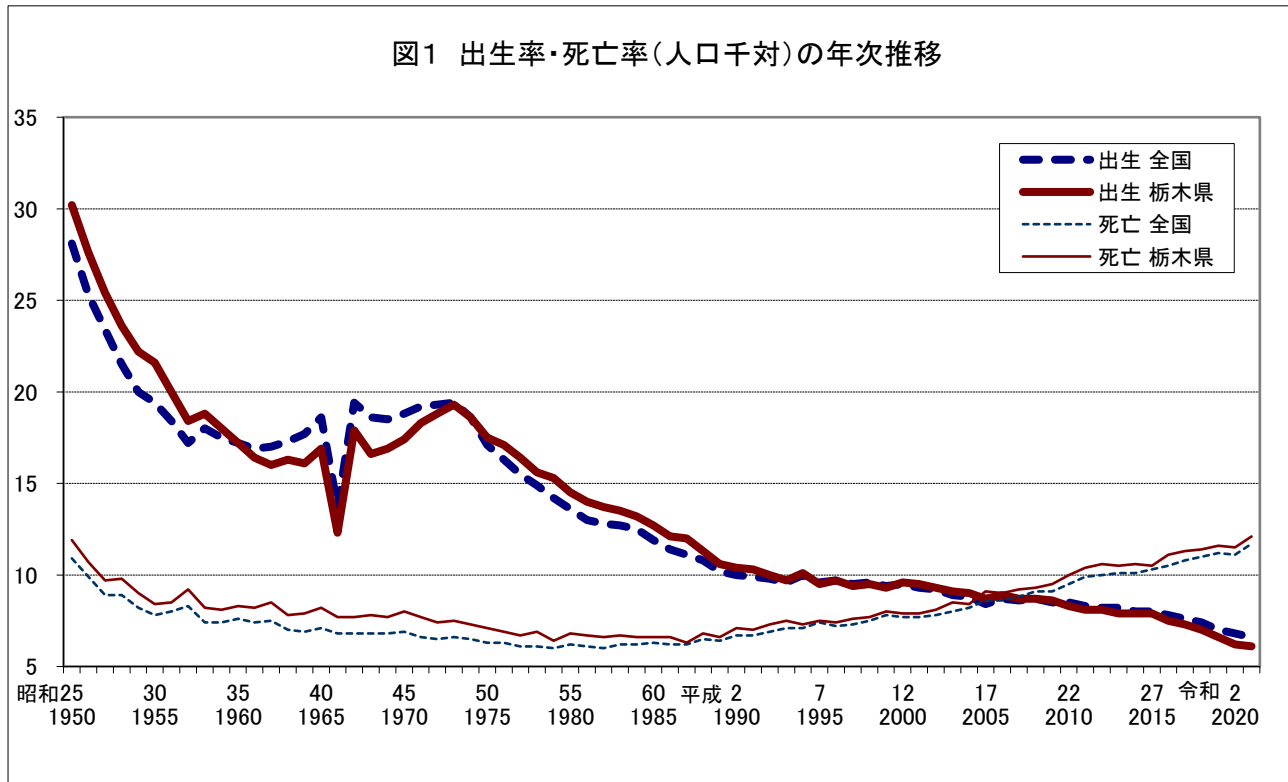
### (1) 死亡数及び死亡率

死亡数は22,712人で前年の21,702人より1,010人増加し、死亡率（人口千対）は12.1で前年の11.5を0.6上回った。

死亡率を年次推移でみると、昭和62(1987)年に過去最低の6.3まで低下した後、前年比増減を繰り返しながらゆるやかに上昇してきている。

### (2) 都道府県別にみた死亡率

都道府県別に死亡率をみると、本県の12.1は全国で32位であり、全国の11.7を0.4上回った。死亡率の最も高い都道府県は秋田県の17.0で、次いで青森県の15.4、高知県の15.3となっている。また、最も低い都道府県は沖縄県の9.4で、次いで東京都の9.5、滋賀県の9.9となっている。



資料：人口動態統計

(3) 死因別死亡

栃木県の死因順位を性別にみると、男性は第1位が悪性新生物<腫瘍>、第2位が心疾患、第3位が脳血管疾患、女性は第1位が悪性新生物<腫瘍>、第2位が老衰、第3位が心疾患であった。

表3 性別死因順位、死亡数・率（人口10万対）の全国比較

[総数] 令和3(2021)年

栃木県	全 国	死 因	栃 木 県			全 国		
死 因 順 位			死 亡 数	死 亡 率	割 合	死 亡 数	死 亡 率	割 合
総 数			22,712	1208.1	100.0	1,439,856	1172.7	100.0
1	1	悪性新生物<腫瘍>	5,811	309.1	25.6	381,505	310.7	26.5
2	2	心 疾 患	3,572	190.0	15.7	214,710	174.9	14.9
3	3	老 衰	2,461	130.9	10.8	152,027	123.8	10.6
4	4	脳 血 管 疾 患	2,010	106.9	8.8	104,595	85.2	7.3
5	5	肺 炎	1,182	62.9	5.2	73,194	59.6	5.1
6	6	誤 嚥 性 肺 炎	574	30.5	2.5	49,488	40.3	3.4
7	7	不 慮 の 事 故	559	29.7	2.5	38,355	31.2	2.7
8	10	血 管 性 等 の 認 知 症	436	23.2	1.9	22,343	18.2	1.6
9	8	腎 不 全	428	22.8	1.9	28,688	23.4	2.0
10	9	ア ル ツ ハ イ マ ー 病	347	18.5	1.5	22,960	18.7	1.6

[男]

栃木県	全 国	死 因	栃 木 県			全 国		
死 因 順 位			死 亡 数	死 亡 率	割 合	死 亡 数	死 亡 率	割 合
総 数			11,774	1255.2	100.0	738,141	1236.7	100.0
1	1	悪性新生物<腫瘍>	3,438	366.5	29.2	222,467	372.7	30.1
2	2	心 疾 患	1,804	192.3	15.3	103,700	173.7	14.0
3	3	脳 血 管 疾 患	1,027	109.5	8.7	51,594	86.4	7.0
4	4	肺 炎	699	74.5	5.9	42,341	70.9	5.7
5	5	老 衰	652	69.5	5.5	41,286	69.2	5.6
6	6	誤 嚥 性 肺 炎	347	37.0	2.9	29,319	49.1	4.0
7	7	不 慮 の 事 故	329	35.1	2.8	22,026	36.9	3.0
8	8	腎 不 全	232	24.7	2.0	15,080	25.3	2.0
9	10	間 質 性 肺 疾 患	226	24.1	1.9	13,581	22.8	1.8
10	11	自 殺	215	22.9	1.8	13,508	22.6	1.8

[女]

栃木県	全 国	死 因	栃 木 県			全 国		
死 因 順 位			死 亡 数	死 亡 率	割 合	死 亡 数	死 亡 率	割 合
総 数			10,938	1161.1	100.0	701,715	1112.2	100.0
1	1	悪性新生物<腫瘍>	2,373	251.9	21.7	159,038	252.1	22.7
2	3	老 衰	1,809	192.0	16.5	110,741	175.5	15.8
3	2	心 疾 患	1,768	187.7	16.2	111,010	175.9	15.8
4	4	脳 血 管 疾 患	983	104.4	9.0	53,001	84.0	7.6
5	5	肺 炎	483	51.3	4.4	30,853	48.9	4.4
6	9	血 管 性 等 の 認 知 症	286	30.4	2.6	14,181	22.5	2.0
7	7	不 慮 の 事 故	230	24.4	2.1	16,329	25.9	2.3
8	6	誤 嚥 性 肺 炎	227	24.1	2.1	20,169	32.0	2.9
9	8	ア ル ツ ハ イ マ ー 病	224	23.8	2.0	14,973	23.7	2.1
10	10	腎 不 全	196	20.8	1.8	13,608	21.6	1.9

注：1) 率算出に用いた人口 人口推計（令和3(2021)年10月1日現在）（総務省統計局）  
 全 国 総数 122,780,487 人 栃木県 総数 1,880,000 人  
 男 59,686,643 人 男 938,000 人  
 女 63,093,844 人 女 942,000 人

2) 割合は死亡総数に対するものである。  
 3) 「心疾患」は「心疾患（高血圧性を除く）」、「血管性等の認知症」は「血管性及び詳細不明の認知症」である。

(4) 三大死因

死亡数を三大死因別にみると、悪性新生物＜腫瘍＞は 5,811人で前年より21人増加、心疾患は3,572人で前年より196人増加、脳血管疾患は 2,010人で前年より 8人増加となった。

表4 三大死因死亡数・率（人口10万対）の年次推移（栃木県）

	三大死因計		悪性新生物＜腫瘍＞		心疾患		脳血管疾患	
	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和 30 (1955) 年	5,011	323.8	1,294	83.6	1,140	73.7	2,577	166.5
35 (1960)	5,943	392.6	1,689	111.6	1,304	86.2	2,950	194.9
40 (1965)	6,697	440.1	1,773	116.5	1,425	93.6	3,499	229.9
45 (1970)	7,213	457.0	1,891	119.8	1,536	97.3	3,786	239.9
50 (1975)	7,202	424.1	2,096	123.4	1,557	91.7	3,549	209.0
55 (1980)	7,750	430.9	2,424	134.8	1,936	107.6	3,390	188.5
60 (1985)	7,844	416.4	2,800	148.6	2,207	117.2	2,837	150.6
平成 2 (1990)	8,402	436.3	3,302	171.5	2,617	135.9	2,483	128.9
7 (1995)	8,979	456.9	3,974	202.2	2,221	113.0	2,784	141.6
11 (1999)	9,622	483.8	4,449	223.7	2,558	128.6	2,615	131.5
12 (2000)	9,559	481.9	4,568	230.3	2,497	125.9	2,494	125.7
13 (2001)	9,745	490.4	4,659	234.5	2,494	125.5	2,592	130.4
14 (2002)	9,803	493.6	4,633	233.3	2,547	128.2	2,623	132.1
15 (2003)	10,280	517.6	4,918	247.6	2,713	136.6	2,649	133.4
16 (2004)	10,175	512.1	4,895	246.4	2,774	139.6	2,506	126.1
17 (2005)	10,668	536.0	4,989	250.7	3,046	153.0	2,633	132.3
18 (2006)	10,624	534.4	5,167	259.9	2,968	149.3	2,489	125.2
19 (2007)	10,799	544.0	5,293	266.6	3,022	152.2	2,484	125.1
20 (2008)	10,711	540.7	5,248	264.9	3,081	155.5	2,382	120.2
21 (2009)	10,815	547.0	5,257	265.9	3,167	160.2	2,391	120.9
22 (2010)	11,168	563.8	5,444	274.8	3,332	168.2	2,392	120.8
23 (2011)	11,398	577.1	5,535	280.3	3,437	174.0	2,426	122.8
24 (2012)	11,623	590.6	5,613	285.2	3,547	180.2	2,463	125.2
25 (2013)	11,209	571.6	5,628	287.0	3,339	170.3	2,242	114.3
26 (2014)	11,292	577.9	5,713	292.4	3,382	173.1	2,197	112.4
27 (2015)	11,134	571.7	5,506	282.7	3,386	173.9	2,242	115.1
28 (2016)	11,499	593.1	5,849	301.7	3,441	177.5	2,209	113.9
29 (2017)	11,626	602.4	5,792	300.1	3,601	186.6	2,233	115.7
30 (2018)	11,454	596.9	5,789	301.7	3,549	184.9	2,116	110.3
令和 元 (2019)	11,363	596.1	5,732	300.7	3,532	185.3	2,099	110.1
2 (2020)	11,168	590.4	5,790	306.1	3,376	178.5	2,002	105.8
<b>3 (2021)</b>	<b>11,393</b>	<b>606.0</b>	<b>5,811</b>	<b>309.1</b>	<b>3,572</b>	<b>190.0</b>	<b>2,010</b>	<b>106.9</b>

表5 三大死因死亡数・率（人口10万対）の年次推移（全国）

	三大死因計		悪性新生物＜腫瘍＞		心疾患		脳血管疾患	
	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和 30 (1955) 年	243,576	284.0	77,721	87.1	54,351	60.9	111,504	136.1
35 (1960)	312,282	334.3	93,773	100.4	68,400	73.2	150,109	160.7
40 (1965)	354,981	361.2	106,536	108.4	75,672	77.0	172,773	175.8
45 (1970)	390,703	378.9	119,977	116.3	89,411	86.7	181,315	175.8
50 (1975)	409,976	368.5	136,383	122.6	99,226	89.2	174,367	156.7
55 (1980)	447,586	384.8	161,764	139.1	123,505	106.2	162,317	139.5
60 (1985)	463,805	385.6	187,714	156.1	141,097	117.3	134,994	112.2
平成 2 (1990)	504,835	411.4	217,413	177.2	165,478	134.8	121,944	99.4
7 (1995)	548,780	440.0	263,022	211.6	139,206	112.0	146,552	117.9
11 (1999)	580,624	462.8	290,556	231.6	151,079	120.4	138,989	110.8
12 (2000)	574,754	457.6	295,484	235.2	146,741	116.8	132,529	105.5
13 (2001)	580,806	461.3	300,658	238.8	148,292	117.8	131,856	104.7
14 (2002)	587,343	466.1	304,568	241.7	152,518	121.0	130,257	103.4
15 (2003)	601,155	476.6	309,543	245.4	159,545	126.5	132,067	104.7
16 (2004)	609,038	482.7	320,358	253.9	159,625	126.5	129,055	102.3
17 (2005)	631,913	500.7	325,941	258.3	173,125	137.2	132,847	105.3
18 (2006)	630,606	499.9	329,314	261.0	173,024	137.2	128,268	101.7
19 (2007)	639,048	506.8	336,468	266.6	175,539	139.2	127,041	100.8
20 (2008)	651,914	517.6	342,963	272.3	181,928	144.4	127,023	100.9
21 (2009)	647,200	514.4	344,105	273.5	180,745	143.7	122,350	97.2
22 (2010)	666,320	527.2	353,499	279.7	189,360	149.8	123,461	97.7
23 (2011)	676,098	535.8	357,305	283.2	194,926	154.5	123,867	98.2
24 (2012)	681,401	541.0	360,963	286.6	198,836	157.9	121,602	96.5
25 (2013)	679,942	540.9	364,872	290.3	196,723	156.5	118,347	94.1
26 (2014)	679,235	541.5	368,103	293.5	196,925	157.0	114,207	91.1
27 (2015)	678,432	541.4	370,346	295.5	196,113	156.5	111,973	89.4
28 (2016)	680,312	544.1	372,986	298.3	198,006	158.4	109,320	87.4
29 (2017)	688,051	552.0	373,334	299.5	204,837	164.3	109,880	88.2
30 (2018)	689,991	555.4	373,584	300.7	208,221	167.6	108,186	87.1
令和 元 (2019)	690,691	558.2	376,425	304.2	207,714	167.9	106,552	86.1
2 (2020)	686,959	556.7	378,385	306.6	205,596	166.6	102,978	83.5
<b>3 (2021)</b>	<b>700,810</b>	<b>570.8</b>	<b>381,505</b>	<b>310.7</b>	<b>214,710</b>	<b>174.9</b>	<b>104,595</b>	<b>85.2</b>

注：率算出に用いた人口 人口推計（令和3（2021）年10月1日現在）（総務省統計局）

資料：人口動態統計

図2 市町村別三大死因の死亡率(人口10万対)(令和3(2021)年)



\* 資料:3統計表 第1章人口動態統計 第10節特定死因 第1-10-6表 より

表6 死因順位及び死亡率（人口10万対）の年次推移（栃木県）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
昭和30 (1955)	中枢神経系の血管損傷 166.5	悪性新生物 83.6	心臓の疾患 73.7	老 衰 64.0	胃炎,十二指腸炎,腸炎,大腸炎 46.5	新生児固有の疾患,性質不明の未熟児 44.7	全 結 核 39.6	肺 炎 34.8	不慮の障害 30.7	自殺及び自傷 22.9
35 (1960)	中枢神経系の血管損傷 194.9	悪性新生物 111.6	心臓の疾患 86.2	肺炎・気管支炎 57.3	老 衰 41.2	不慮の事故 40.8	胃炎,十二指腸炎,腸炎,大腸炎 32.4	全 結 核 22.7	新生児固有の疾患,性質不明の未熟児 20.7	腎炎・ネフローゼ 19.7
40 (1965)	中枢神経系の血管損傷 229.0	悪性新生物 116.5	心臓の疾患 93.6	不慮の事故 43.2	老 衰 42.8	肺炎・気管支炎 41.8	高血圧性疾患 23.2	胃炎,十二指腸炎,腸炎,大腸炎 21.7	全 結 核 16.1	新生児固有の疾患,性質不明の未熟児 14.5
45 (1970)	脳血管疾患 239.9	悪性新生物 119.8	心 疾 患 97.3	不慮の事故 54.1	肺炎・気管支炎 47.9	老 衰 33.6	喘 息 15.3	高血圧性疾患 14.7	自 殺 14.2	全 結 核 13.1
50 (1975)	脳血管疾患 209.0	悪性新生物 123.4	心 疾 患 91.7	肺炎・気管支炎 42.6	不慮の事故 37.8	老 衰 24.9	高血圧性疾患 18.4	自 殺 17.3	肝 硬 変 12.0	喘 息 11.5
55 (1980)	脳血管疾患 188.5	悪性新生物 134.8	心 疾 患 107.6	肺炎・気管支炎 37.5	不慮の事故 30.4	老 衰 24.5	自 殺 19.1	肝 硬 変 13.3	高血圧性疾患 12.7	腎炎・ネフローゼ 7.7
60 (1985)	脳血管疾患 150.6	悪性新生物 148.6	心 疾 患 117.2	肺炎・気管支炎 42.4	不慮の事故 27.4	自 殺 21.9	老 衰 20.5	肝 硬 変 12.8	高血圧性疾患 11.4	腎炎・ネフローゼ症候群及びネフローゼ 8.7
平成2 (1990)	悪性新生物 171.5	心 疾 患 135.9	脳血管疾患 128.9	肺炎・気管支炎 66.3	不慮の事故 30.0	老 衰 22.6	自 殺 18.5	肝 硬 変 13.2	腎炎・ネフローゼ症候群及びネフローゼ 10.7	高血圧性疾患 8.5
7 (1995)	悪性新生物 202.2	脳血管疾患 141.6	心 疾 患 113.0	肺 炎 63.7	不慮の事故 31.9	自 殺 18.7	老 衰 17.2	肝 疾 患 13.0	糖 尿 病 12.3	慢性閉塞性肺疾患 12.1
12 (2000)	悪性新生物 230.3	心 疾 患 125.9	脳血管疾患 125.7	肺 炎 72.8	不慮の事故 32.1	自 殺 25.6	老 衰 18.6	肝 疾 患 12.7	腎 不 全 11.0	慢性閉塞性肺疾患 11.0
17 (2005)	悪性新生物 250.7	心 疾 患 153	脳血管疾患 132.3	肺 炎 96.2	不慮の事故 34.4	老 衰 26.8	自 殺 24.9	腎 不 全 15.4	肝 疾 患 13.5	糖 尿 病 11.2
18 (2006)	悪性新生物 259.9	心 疾 患 149.3	脳血管疾患 125.2	肺 炎 89.9	不慮の事故 31.3	老 衰 29	自 殺 24.8	腎 不 全 17.2	肝 疾 患 13.7	糖 尿 病 13
19 (2007)	悪性新生物 266.6	心 疾 患 152.2	脳血管疾患 125.1	肺 炎 90.5	不慮の事故 29.9	老 衰 29.2	自 殺 26.6	腎 不 全 16.2	肝 疾 患 13.2	糖 尿 病 12.2
20 (2008)	悪性新生物 264.9	心 疾 患 155.5	脳血管疾患 120.2	肺 炎 96.8	老 衰 37.1	不慮の事故 29.4	自 殺 26.8	腎 不 全 18.1	糖 尿 病 11.8	慢性閉塞性肺疾患 11.5
21 (2009)	悪性新生物 265.9	心 疾 患 160.2	脳血管疾患 120.9	肺 炎 95.3	老 衰 36.5	不慮の事故 29.4	自 殺 27.8	腎 不 全 17.4	肝 疾 患 13.1	糖 尿 病 12.4
22 (2010)	悪性新生物 274.8	心 疾 患 168.2	脳血管疾患 120.8	肺 炎 102.8	老 衰 42.0	不慮の事故 33.3	自 殺 25.0	腎 不 全 17.7	慢性閉塞性肺疾患 13.5	肝 疾 患 13.2
23 (2011)	悪性新生物 280.3	心 疾 患 174.0	脳血管疾患 122.8	肺 炎 111.6	老 衰 49.8	不慮の事故 30.1	自 殺 24.3	腎 不 全 20.2	慢性閉塞性肺疾患 13.9	肝 疾 患 13.4
24 (2012)	悪性新生物 285.2	心 疾 患 180.2	脳血管疾患 125.2	肺 炎 101.4	老 衰 59.6	不慮の事故 28.5	自 殺 22.8	腎 不 全 20.1	肝 疾 患 14.6	慢性閉塞性肺疾患 14.1
25 (2013)	悪性新生物 287.0	心 疾 患 170.3	脳血管疾患 114.3	肺 炎 101.6	老 衰 68.0	不慮の事故 27.7	自 殺 22.6	腎 不 全 19.5	大動脈瘤及び解離 14.3	肝 疾 患 13.8
26 (2014)	悪性新生物 292.4	心 疾 患 173.1	脳血管疾患 112.4	肺 炎 101.3	老 衰 67.4	不慮の事故 28.3	自 殺 20.1	腎 不 全 19.4	慢性閉塞性肺疾患 14.2	大動脈瘤及び解離 13.8
27 (2015)	悪性新生物 282.7	心 疾 患 173.9	脳血管疾患 115.1	肺 炎 98.5	老 衰 71.9	不慮の事故 27.1	腎 不 全 21.1	自 殺 19.5	大動脈瘤及び解離 15.3	血管性及び詳細不明の症 12.8
28 (2016)	悪性新生物 301.7	心 疾 患 177.5	脳血管疾患 113.9	肺 炎 96.5	老 衰 85.1	不慮の事故 26.7	腎 不 全 21.4	自 殺 18.9	大動脈瘤及び解離 15.5	血管性及び詳細不明の症 14.4
29 (2017)	悪性新生物<腫瘍> 300.1	心 疾 患 186.6	脳血管疾患 115.7	老 衰 94.1	肺 炎 77.6	不慮の事故 28.9	誤嚥性肺炎 21.5	血管性及び詳細不明の症 21.1	腎 不 全 21.1	自 殺 18.1
30 (2018)	悪性新生物<腫瘍> 301.7	心 疾 患 184.9	脳血管疾患 110.3	老 衰 102.3	肺 炎 77.1	不慮の事故 30.1	誤嚥性肺炎 23.4	血管性等の認知症 21.5	腎 不 全 21.2	アルツハイマー病 18.0
令和元 (2019)	悪性新生物<腫瘍> 300.7	心 疾 患 185.3	脳血管疾患 110.1	老 衰 109.8	肺 炎 73.9	不慮の事故 30.9	誤嚥性肺炎 23.3	血管性等の認知症 22.7	腎 不 全 20.5	アルツハイマー病 19.4
2 (2020)	悪性新生物<腫瘍> 306.1	心 疾 患 178.5	老 衰 115.0	脳血管疾患 105.8	肺 炎 64.3	不慮の事故 28.7	誤嚥性肺炎 26.5	血管性等の認知症 22.9	腎 不 全 19.6	アルツハイマー病 17.8
3 (2021)	悪性新生物<腫瘍> 309.1	心 疾 患 190.0	老 衰 130.9	脳血管疾患 106.9	肺 炎 62.9	誤嚥性肺炎 30.5	不慮の事故 29.7	血管性等の認知症 23.2	腎 不 全 22.8	アルツハイマー病 18.5

## 4 乳児死亡及び新生児死亡

### (1) 乳児死亡数及び乳児死亡率、新生児死亡数及び新生児死亡率

乳児死亡数は23人で前年の25人より2人減少し、乳児死亡率（出生千対）は2.0で、前年の2.1を0.1下回った。

また、乳児死亡のうち新生児死亡数は12人で前年の13人より1人減少し、新生児死亡率（出生千対）は1.0で、前年の1.1を0.1下回った。

乳児死亡率及び新生児死亡率を年次推移で見ると、両率とも概ね減少傾向が続いている。

### (2) 都道府県別にみた乳児死亡率及び新生児死亡率

都道府県別に乳児死亡率をみると、本県の2.0は全国14位であり、全国の1.7を0.3上回った。

乳児死亡率の高い都道府県は和歌山県の2.7で、次いで長崎県の2.5となっている。

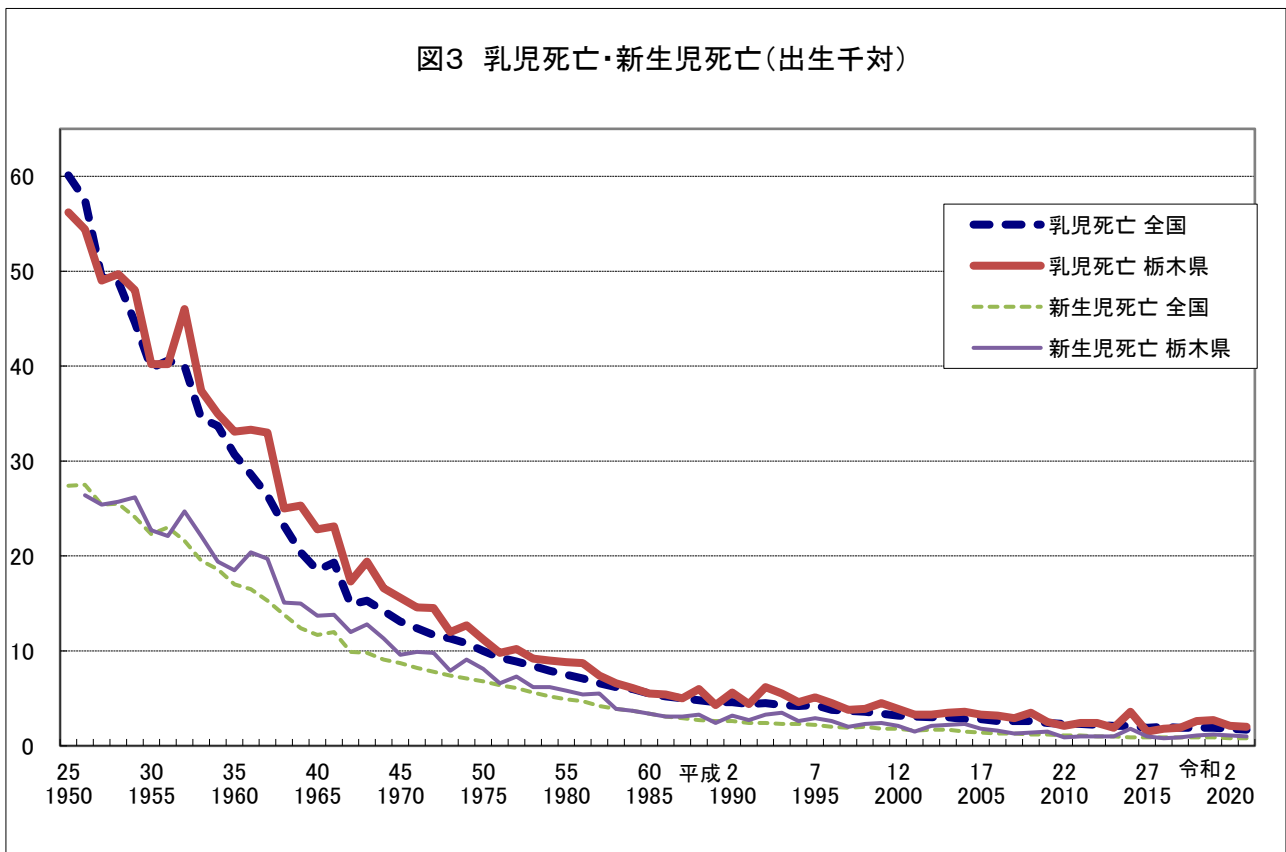
また、最も低い都道府県は島根県の0.9で、次いで長野県の1.0となっている。

新生児死亡率については、本県の1.0は全国10位であり、全国の0.8を0.2上回った。

新生児死亡率の高い都道府県は長崎県の1.8で、次いで山口県の1.4となっている。

また、最も低い都道府県は島根県の0.2で、次いで青森県の0.5となっている。

図3 乳児死亡・新生児死亡(出生千対)



## 5 死 産

### (1) 死産数及び死産率

死産数は253胎で前年の262胎より9胎減少し、死産率(出産(出生+死産)千対)は21.6で、前年の21.7を0.1下回った。

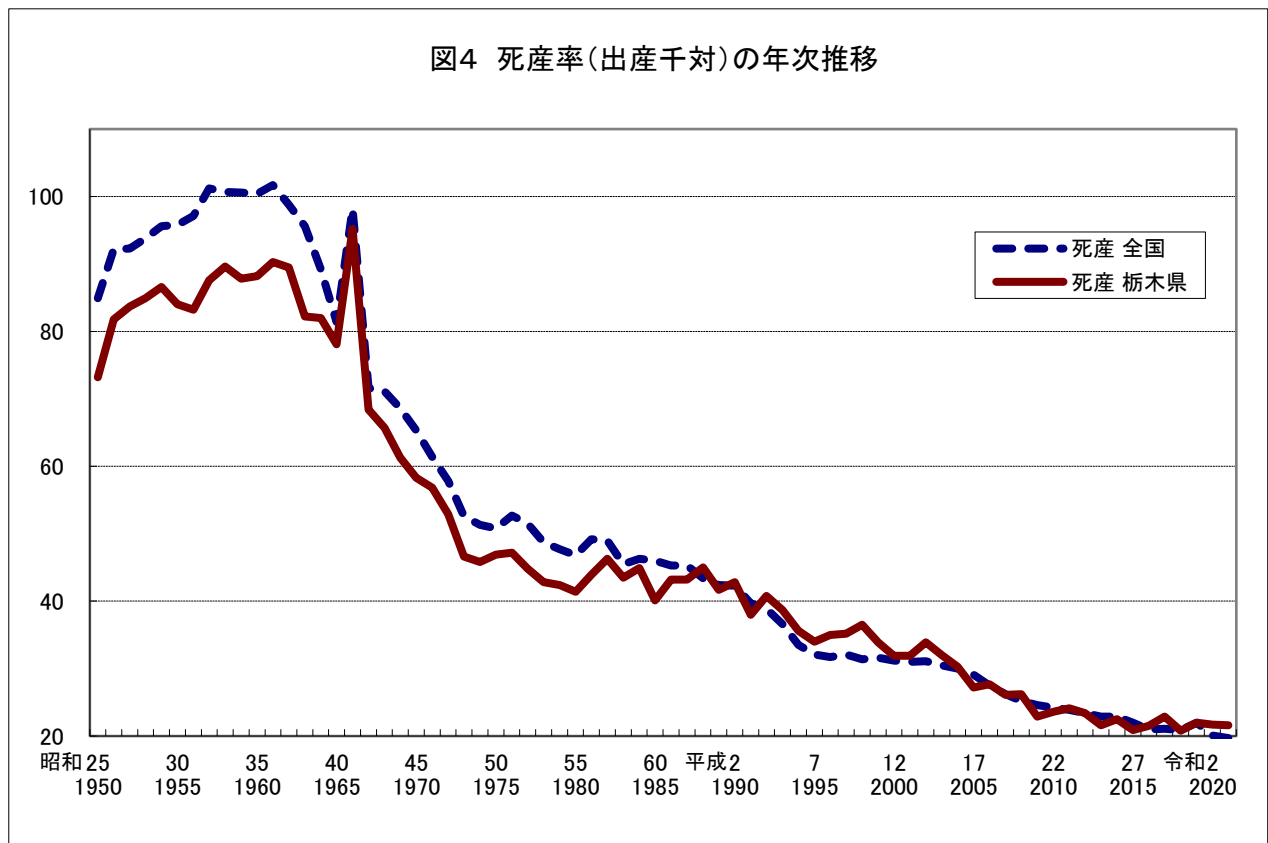
死産率を年次推移でみると、昭和41(1966)年の95.2をピークに減少してきている。

### (2) 都道府県別にみた死産率

都道府県別に死産率をみると、本県の21.6は全国で8位であり、全国の19.7を1.9上回った。

死産率の最も高い都道府県は沖縄県の24.6で、次いで熊本県の22.7となっている。

また、最も低い都道府県は山梨県の13.5で、次いで長野県の15.3となっている。



## 6 婚 姻

### (1) 婚姻数及び婚姻率

婚姻数は7,127組で前年の7,396組より269組減少し、婚姻率(人口千対)は3.8で前年の3.9を0.1下回った。

婚姻率を年次推移でみると、昭和22(1947)年の12.1をピークに減少を続け、昭和62(1987)～平成元(1989)年に5.6となった後は微増したが、平成12(2000)年及び平成13(2001)年の6.4を境にまた減少に転じ、令和3(2021)年は過去最低の3.8となった。

### (2) 都道府県別にみた婚姻率

都道府県別に婚姻率をみると、本県の3.8は全国で18位であり、全国の4.1を0.3下回った。

婚姻率の最も高い都道府県は東京都の5.2で、次いで沖縄県の4.8となっている。

また、最も低い都道府県は秋田県の2.8で、次いで青森県の3.1となっている。



## 7 離 婚

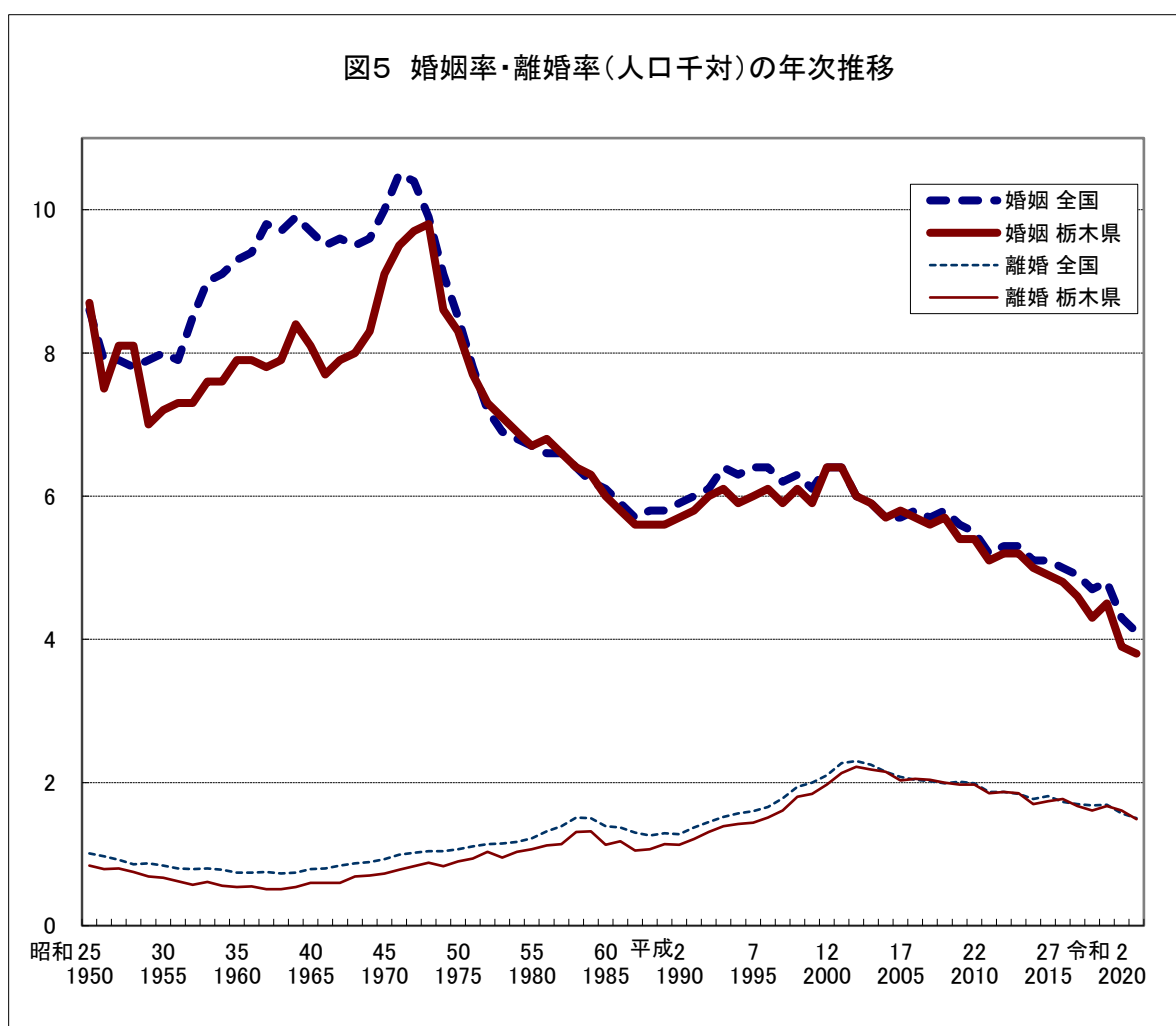
### (1) 離婚数及び離婚率

離婚数は2,799組で前年の3,037組より238組減少し、離婚率（人口千対）は1.49で前年の1.61を0.12下回った。

離婚率を年次推移でみると、平成14(2002)年の2.22をピークとしてそれ以降は減少傾向が続いている。

### (2) 都道府県別にみた離婚率

都道府県別に離婚率をみると、本県の1.49は全国で18位であり、全国の1.50を0.01下回った。離婚率の最も高い都道府県は沖縄県の2.20で、次いで大阪府、福岡県の1.70となっている。また、最も低い都道府県は、秋田県の1.11で、次いで富山県の1.15となっている。



## 8 生命表

### (1) 主な年齢の平均余命

令和3年簡易生命表によると、男の平均寿命は81.47年、女の平均寿命は87.57年となり前年と比較して男は0.09年、女は0.14年下回った。

また、平均寿命の男女差は、6.10年で前年と同程度となっている。（表7）

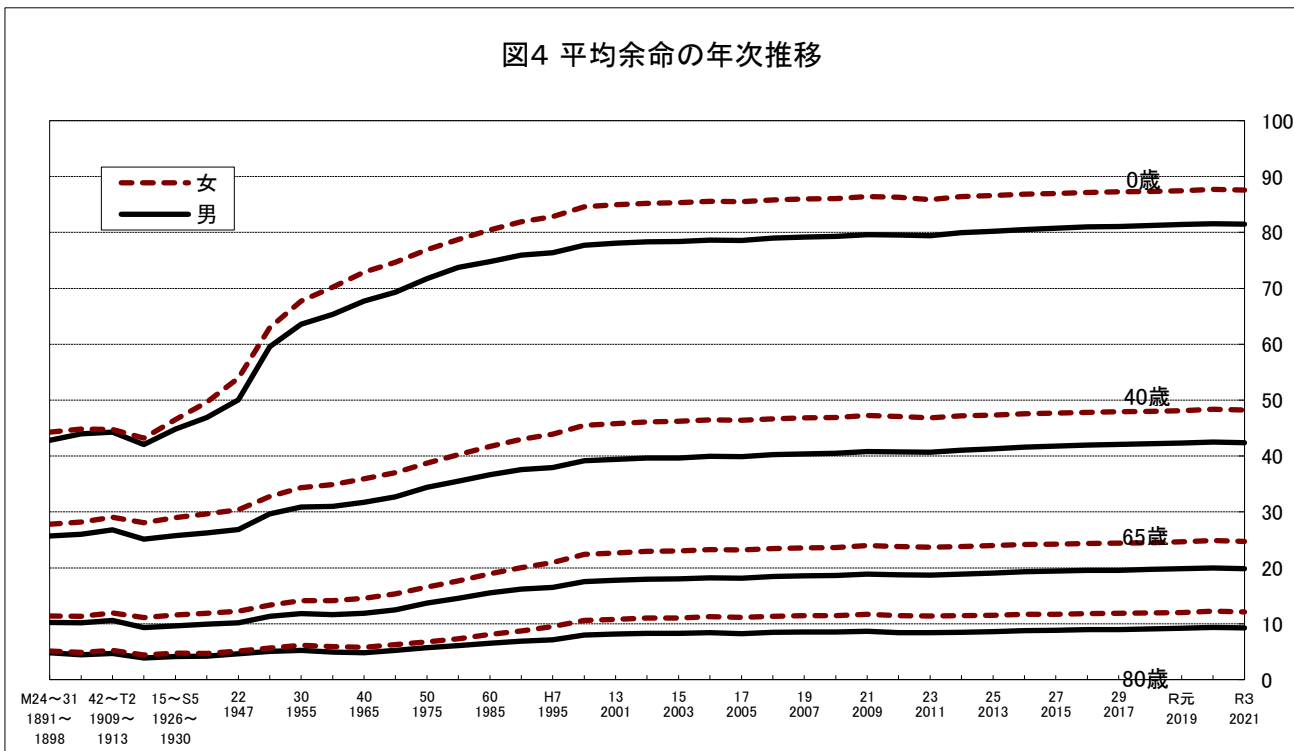
表7 主な年齢の平均余命とその伸び（全国）

（単位：年）

年齢	男			女			男女差（女-男）		
	R3年 (2021) (A)	R2年 (2020) (B)	伸び (A-B)	R3年 (2021) (C)	R2年 (2020) (D)	伸び (C-D)	R3年 (2021) E (C-A)	R2年 (2020) F (D-B)	差 (E-F)
0歳	81.47	81.56	△ 0.09	87.57	87.71	△ 0.14	6.10	6.15	△ 0.05
5歳	76.67	76.76	△ 0.09	82.76	82.90	△ 0.14	6.09	6.14	△ 0.05
10歳	71.70	71.78	△ 0.08	77.78	77.93	△ 0.15	6.08	6.15	△ 0.07
15歳	66.73	66.81	△ 0.08	72.81	72.95	△ 0.14	6.08	6.14	△ 0.06
20歳	61.81	61.90	△ 0.09	67.87	68.01	△ 0.14	6.06	6.11	△ 0.05
25歳	56.95	57.05	△ 0.09	62.95	63.09	△ 0.14	6.00	6.04	△ 0.04
30歳	52.09	52.18	△ 0.09	58.03	58.17	△ 0.13	5.94	5.99	△ 0.05
35歳	47.23	47.33	△ 0.10	53.13	53.25	△ 0.12	5.90	5.92	△ 0.02
40歳	42.40	42.50	△ 0.09	48.24	48.37	△ 0.13	5.84	5.87	△ 0.03
45歳	37.62	37.72	△ 0.11	43.39	43.52	△ 0.13	5.77	5.80	△ 0.03
50歳	32.93	33.04	△ 0.11	38.61	38.75	△ 0.14	5.68	5.71	△ 0.03
55歳	28.39	28.50	△ 0.11	33.91	34.06	△ 0.14	5.52	5.56	△ 0.04
60歳	24.02	24.12	△ 0.11	29.28	29.42	△ 0.14	5.26	5.30	△ 0.04
65歳	19.85	19.97	△ 0.11	24.73	24.88	△ 0.14	4.88	4.91	△ 0.03
70歳	15.96	16.09	△ 0.13	20.31	20.45	△ 0.14	4.35	4.36	△ 0.01
75歳	12.42	12.54	△ 0.12	16.08	16.22	△ 0.14	3.66	3.68	△ 0.02
80歳	9.22	9.34	△ 0.12	12.12	12.25	△ 0.13	2.90	2.91	△ 0.01
85歳	6.48	6.59	△ 0.10	8.60	8.73	△ 0.13	2.12	2.14	△ 0.02
90歳	4.38	4.49	△ 0.11	5.74	5.85	△ 0.12	1.36	1.36	0.00
95歳	2.90	3.06	△ 0.16	3.66	3.78	△ 0.12	0.76	0.72	0.04
100歳	1.91	2.21	△ 0.30	2.41	2.53	△ 0.12	0.50	0.32	0.18

資料：令和2年完全生命表、令和3年簡易生命表

図4 平均余命の年次推移



資料：完全生命表、簡易生命表

(2) 特定死因を除去した場合の平均余命の延び

ある死因で死亡することがなくなったとすると、その死因によって死亡していた者は、その死亡年齢以後に他の死因で死亡することになる。その結果死亡時期が繰り越され、平均余命が延びることになる。この延びは、その死因のために失われた平均余命としてみる事ができ、これによって各死因がどの程度平均余命に影響しているかを測ることができる。

表8 特定死因を除去した場合の平均余命の延び（0歳・65歳・75歳・90歳）（全国）

（単位：年）

主な死因	年齢	男					女				
		平成29年 2017	30年 2018	令和元年 2019	2年 2020	3年 2021	平成29年 2017	30年 2018	令和元年 2019	2年 2020	3年 2021
悪性新生物	0歳	3.62	3.54	3.54	3.55	3.43	2.84	2.84	2.84	2.87	2.81
	65	2.92	2.87	2.89	2.93	2.83	1.96	1.96	1.96	2.02	1.97
	75	1.96	1.95	1.98	2.03	1.95	1.35	1.35	1.36	1.41	1.37
	90	0.55	0.56	0.59	0.62	0.57	0.41	0.41	0.41	0.44	0.42
心疾患 (高血圧性を除く)	0歳	1.40	1.41	1.41	1.44	1.42	1.32	1.31	1.28	1.26	1.23
	65	1.09	1.11	1.10	1.12	1.10	1.25	1.24	1.20	1.20	1.16
	75	0.91	0.92	0.91	0.93	0.92	1.18	1.17	1.13	1.13	1.09
	90	0.58	0.59	0.59	0.61	0.60	0.81	0.81	0.78	0.80	0.77
脳血管疾患	0歳	0.75	0.73	0.72	0.71	0.69	0.71	0.69	0.67	0.66	0.62
	65	0.58	0.57	0.55	0.55	0.53	0.62	0.60	0.58	0.57	0.54
	75	0.49	0.47	0.46	0.45	0.44	0.57	0.54	0.52	0.51	0.48
	90	0.24	0.23	0.23	0.22	0.21	0.35	0.33	0.31	0.31	0.29
肺炎	0歳	0.59	0.57	0.58	0.49	0.43	0.45	0.43	0.42	0.34	0.29
	65	0.60	0.58	0.58	0.49	0.43	0.45	0.43	0.42	0.34	0.29
	75	0.60	0.57	0.58	0.48	0.42	0.45	0.43	0.41	0.33	0.29
	90	0.47	0.44	0.44	0.36	0.31	0.35	0.33	0.31	0.25	0.20
不慮の事故	0歳	0.44	0.44	0.41	0.40	0.37	0.27	0.28	0.26	0.24	0.23
	65	0.22	0.23	0.22	0.22	0.21	0.19	0.19	0.18	0.18	0.17
	75	0.18	0.18	0.17	0.17	0.17	0.16	0.16	0.15	0.15	0.14
	90	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
交通事故(再掲)	0歳	0.11	0.11	0.10	0.09	0.08	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03
	65	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01
	75	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自殺	0歳	0.58	0.56	0.56	0.58	0.58	0.27	0.28	0.27	0.33	0.34
	65	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
	75	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
	90	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
慢性閉塞性 肺疾患 (COPD)	0歳	0.16	0.16	0.16	0.14	0.14	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03
	65	0.17	0.17	0.16	0.15	0.14	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03
	75	0.16	0.16	0.15	0.14	0.13	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
	90	0.09	0.09	0.08	0.07	0.07	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01
腎不全	0歳	0.14	0.15	0.15	0.16	0.16	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14
	65	0.14	0.14	0.14	0.15	0.15	0.13	0.13	0.13	0.14	0.13
	75	0.13	0.13	0.13	0.14	0.14	0.13	0.13	0.12	0.13	0.12
	90	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
大動脈瘤 及び解離	0歳	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
	65	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
	75	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
	90	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
肝疾患	0歳	0.22	0.23	0.23	0.24	0.24	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12
	65	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
	75	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	90	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
糖尿病	0歳	0.12	0.12	0.11	0.12	0.11	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
	65	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
	75	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
	90	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
高血圧性疾患	0歳	0.05	0.05	0.05	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05	0.06	0.05
	65	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.06	0.05	0.05	0.06	0.05
	75	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	90	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
結核	0歳	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	65	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	75	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	90	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00
新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	0歳	...	...	...	0.03	0.14	...	...	...	0.02	0.09
	65	...	...	...	0.02	0.10	...	...	...	0.01	0.07
	75	...	...	...	0.02	0.07	...	...	...	0.01	0.06
	90	...	...	...	0.01	0.03	...	...	...	0.01	0.03
3大死因 (悪性新生物) (心疾患) (脳血管疾患)	0歳	6.81	6.70	6.65	6.69	6.49	5.61	5.55	5.45	5.46	5.28
	65	5.52	5.46	5.43	5.50	5.32	4.50	4.45	4.34	4.39	4.24
	75	4.12	4.08	4.07	4.15	4.01	3.69	3.63	3.55	3.58	3.44
	90	1.71	1.72	1.72	1.79	1.70	1.89	1.85	1.79	1.84	1.75

注：3大死因のそれぞれの死因を単独に除去した場合には、その他の2死因は除去されていない（例えば、悪性新生物を除去したとしても心疾患や脳血管疾患での死亡はあるものと考え）ことから、3大死因のそれぞれの死因を除去した場合の平均余命の延びを合計したものは、3大死因を同時に除去した場合の平均寿命の延びよりも小さいものとなる。